

講義録レポート

講義録コード 00-4-14-101-01

講 座	簿記検定講座	科目①	
目標年	2024年11月合格目標	科目②	商会 I
コース	1級レギュラーコース	回 数	1 回
		通算回数	1 回

収録日	2023年 11月 15日		
講師名	石川 貴大 講師	内 訳	板書枚数
			0枚
			補助レジュメ枚数
			11枚
			その他(学習進度表)
			4枚

講義構成	講義① 67 分 → 休憩 5 分 → 講義② 65 分 → 休憩 5 分 → 講義③ 75 分		
実施テスト	有 ・ (無)		
対応テスト	<ミニテスト>	() 第	回
	<答練・演習>	() 第	回
使用教材	●合格テキスト	P. 2 ～ P. 28	
	●合格トレーニング	P. ～ P.	
	●その他	[] P. ～ P.	
配付教材・資料	●教材(テキスト・問題集)	()	講義録添付 (有・無)
	●補助レジュメ	() 11 枚	講義録添付 (有・無)
	●その他	(学習進度表) 4 枚	講義録添付 (有・無)
備考	～DVD・Web受講生各位～ 黒板を写すカメラのスイッチング(切替)は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に映らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上、ご受講ください。		

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

TAC 簿記検定講座

授業の前に…

Ⅰ 1級試験の概要

1. 試験日（1級は6月と11月の年2回）

2024年6月9日 第167回

2024年11月17日 第168回

2. 試験制度

A	B	科目	配点	制限時間	出題形式
20	25	商業簿記	25点	1時間30分	総合問題が多い
20	25	会計学	25点		個別問題が多い（理論問題あり）
20	25	工業簿記	25点	1時間30分	総合問題（設問あり）
10	9	原価計算	25点		総合問題（設問あり）
70	84	合計	100点	3時間	
◎	×	合格点	70点以上		

(注) 9点以下の科目があると合計70点以上でも不合格になります(いわゆる足切り制度)

3. 合格率

150回	152回	153回	156回	157回	158回	159回	161回	162回	164回	平均
9.0%	8.5%	9.8%	13.5%	7.9%	9.8%	10.2%	10.1%	10.4%	12.5%	10.2%

※ ポイント

- 1級は、上位10%前後が合格するように試験実施後に配点が決定されているようです！
- 実質的には、競争試験ですから、難しい問題の場合には、出来ている部分に配点が多く置かれるため、難しい部分は正解できなくても合格できます!!

Ⅱ 商業簿記・会計学の学習について

1. スケジュール（1年コース）

2023年12月(または2024年1月)

2024年5月

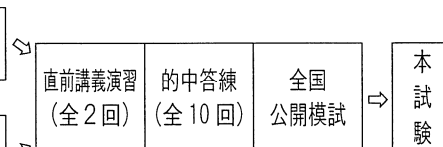
2024年9月

11月

<商会先行>

商会講義Ⅰ (全7回)	商会講義Ⅱ (全16回)	商会講義Ⅲ (全13回)
----------------	-----------------	-----------------

⇒	工原講義Ⅰ (全7回)	工原講義Ⅱ (全12回)	工原講義Ⅲ (全14回)
---	----------------	-----------------	-----------------



<工原先行>

工原講義Ⅰ (全7回)	工原講義Ⅱ (全12回)	工原講義Ⅲ (全14回)
----------------	-----------------	-----------------

⇒	商会講義Ⅰ (全7回)	商会講義Ⅱ (全16回)	商会講義Ⅲ (全13回)
---	----------------	-----------------	-----------------

週2回のペースで学習

※ 上記のスケジュールは教室講座になります。通信講座で学習の方は、週2回のペースを守っていただければ、商会講義①→工原講義①→商会講義②→工原講義②…という進め方もあります。

2. 出題形式

科目	出題形式
商業簿記	総合問題…財務諸表や試算表などを作成する総合問題が中心(2級の第3問) + 個別問題の場合も
会計学	個別問題…1つのテーマに着目した小問が中心 (2問～4問構成で、最低1問は理論問題!)

(注) 出題の範囲や内容には、商業簿記・会計学の差はほとんどありません。

→ 純粋な理論問題対策以外は、商業簿記と会計学を区別して学習する必要はありません。

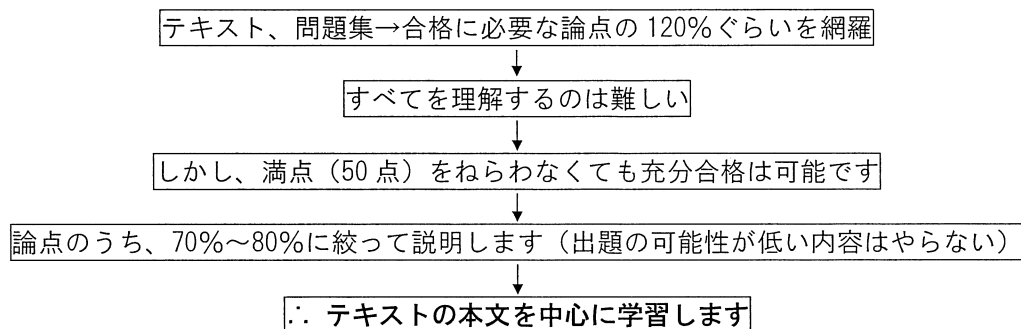
3. 講義方針 → 1回で合格するために必要な論点を中心に学習

商 会 (50 点)	商業簿記… 計 算 (25 点)	
	会 計 学	理 論 (5～10 点)
		計 算 (15～20 点)

【結論】 商会 (50 点) のうち、計算問題 (計算に関係する理論を含む) が 45 点前後、理論問題が 5 点前後なので、講義は計算対策を中心に行います。

「理論の学習方法について」
第 2 回の授業で説明します。

「授業の進め方について」



(注) テキストには本文以外に、参考・補足・研究があります。

参 考…後のテーマで学習する内容を前倒して記載しています

補 足…おまけの情報を記載しています

研 究…出題の可能性が低い内容を記載しています

研究の項目については、取捨選択してご紹介させていただきます！

4. 学習を行うにあたっての注意点（受講ガイドにて確認をお願いします）

(1) 授業を受ける

※ 通学講座のフォロー制度等

- ① **自由クラス出席制度**…手続きは要りません、受講証だけは忘れないように！
- ② **重複受講制度**…同じ授業を教室で2回まで受けられます
- ③ **Webフォロー**…自宅などでの復習、欠席時のフォローに
- ④ TAC校舎での個別ブースでのフォロー(有料：1回500円)

(2) 復習中心の学習（テキスト、レジュメの確認とトレーニング）

- ① 復習を頑張りましょう！テキスト＋レジュメ → トレーニング
 - ② 次回の学習範囲に関係する3・2級の論点を復習しましょう！論点は指示をします。
 - ③ テキストを軽く読む程度の予習をしてください。← 授業が聞きやすくなります！
- (注) トレーニングには重要度のランクがついています。

★★★→重要度A } …繰り返し解いて完璧にしましょう。
★★☆→重要度B }

★☆☆→重要度C …特別に案内がない限り、やらなくていいです。

指示があったものについては最低でも一回は解いてください。

(3) ベーシック講義では、授業の最初にミニテスト（2回目の講義から実施）があります。必ず受けて、満点を目指しましょう！

(注) ミニテストは、通信で学習されている方は、自己採点になります。

教室で受講されている場合は、回収させていただいて、次の授業の時に返却させていただきます(マイページ上でも閲覧できます)。欠席などの理由により返却できなかった答案は、各校舎の受付周辺の返却ボックスに入れておきますので、各自回収してください。

(4) 定期的に基礎演習（答練）を実施しますから、必ず受けましょう！！

解説で、テクニックや下書用紙の作り方を紹介しますので、必ず受けてください！

→ 基礎演習は「受ける」ことに意味があります！

(5) 受講相談や質問を積極的に行い、不得意な科目や分野は作らないようにしましょう！

① 質問電話(教室・ビデオ・通信講座の方)

電話番号 03-5276-8916

受付時間 月・水・金の14:00～17:00と18:00～20:00

※ 祝日・年末年始・GW・お盆には、お休みをいただいております。

② 質問メール(通信講座)

メールでの質問が行えます。

※ Webスクールの学習サポートで、受講生からのよくある質問に対する解答を掲載していますので、ご活用ください。

(6) 3・2級とは違い、難しい試験だということを自覚しましょう！

(3級を10、2級を25だとすると1級は100以上だと思ってください)

(7) 合格のための勉強だと割り切ることも、ときには必要です。

(注) 1級の範囲は膨大ですから、あまり細かいところにこだわりすぎないようにするなど、合格に直結する無駄を省いた学習をしていくということです。

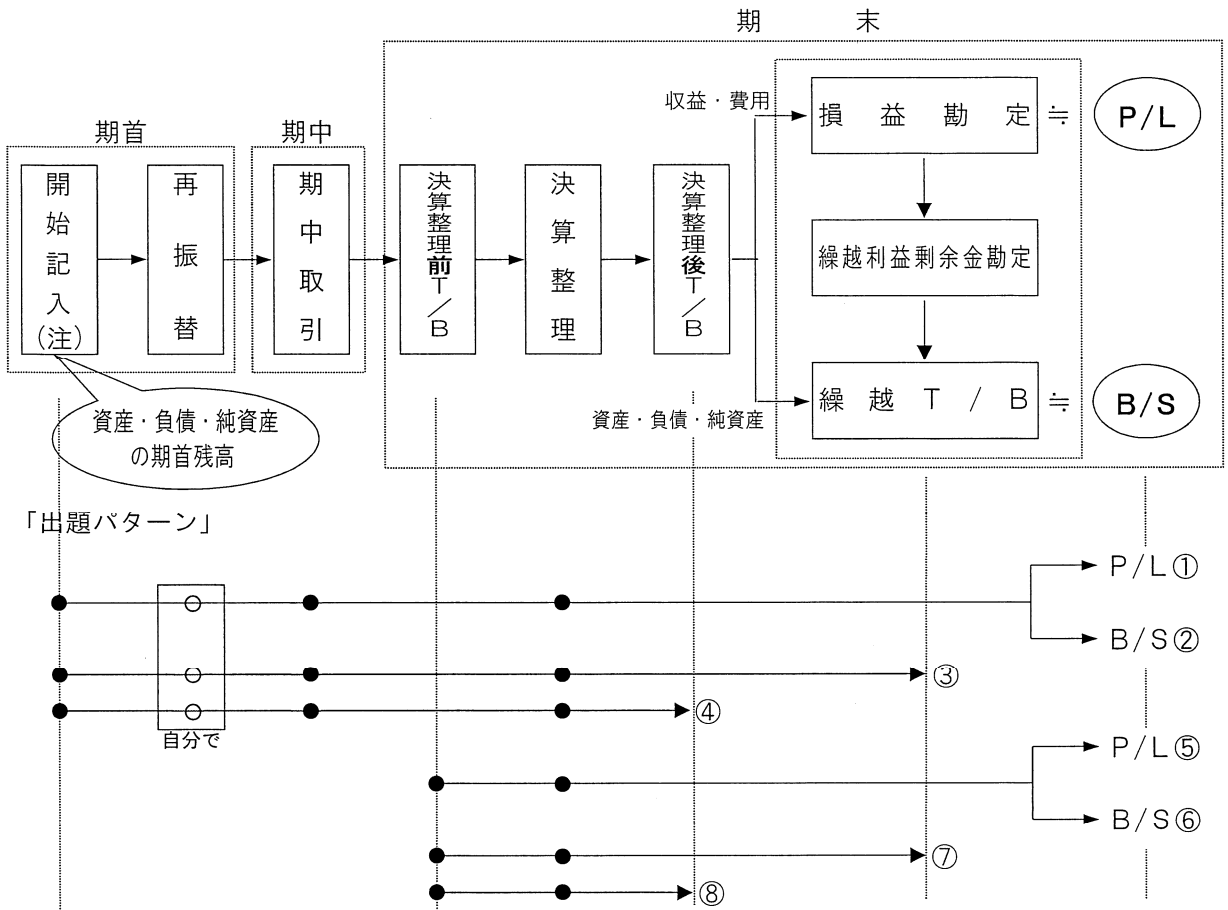
5. 補助教材（講義では使用しませんが、出来るだけ各自でご用意ください）

- (1) 「合格するための過去問題集」…回数別、商工まとめた過去問題集
- (2) 「究極の会計学理論集」…会計学の理論専用の過去問題集

1 商業簿記総論(P2～)

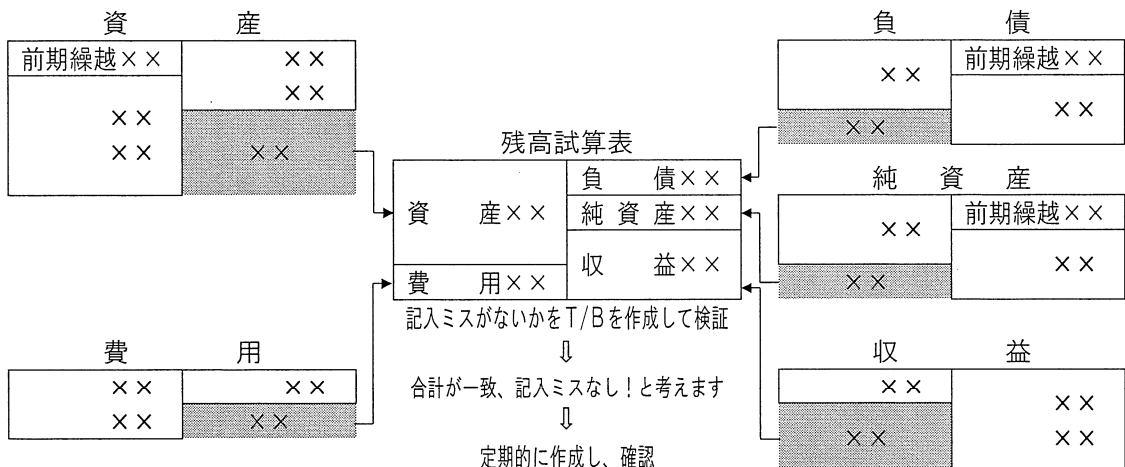
◎ 簿記一巡の流れと出題パターン←重要

簿記一巡とは、企業が財務諸表を作成するためにしなければならない手続き



※ ●が問題文で与えられる資料、矢印の先が解答要求

◎ 残高試算表(T/B)とは？



「設例1－1」

【解答用紙】問1

決算整理前残高試算表

現金預金 ()	買掛金 ()
売掛金 ()	貸倒引当金 ()
繰越商品 ()	減価償却累計額 ()
備品 ()	資本金 ()
仕入 ()	利益準備金 ()
販売費 ()	繰越利益剰余金 ()
一般管理費 ()	売上 ()
()	()

【下書用紙】

(1) 仕 訳

再 振 替	(一 般 管 理 費)	(前 払 一 般 管 理 費)
	(未 払 販 売 費)	(販 売 費)
期中取引 (1)	(未 払 法 人 税 等)	(現 金 預 金)
(2)	(繰 越 利 益 剰 余 金)	(利 益 準 備 金)
		(未 払 配 当 金)
(3)	(未 払 配 当 金)	(現 金 預 金)
(4)	(仕 入)	(買 掛 金)
(5)	(売 掛 金)	(売 上)
(6)	(買 掛 金)	(現 金 預 金)
(7)	(現 金 預 金)	(売 掛 金)
(8)	(販 売 費)	(現 金 預 金)
(9)	(一 般 管 理 費)	(現 金 預 金)

(2) 勘定記入

現 金 預 金	
売 掛 金	
繰 越 商 品	
前 払 一 般 管 理 費	
備 品	
仕 入	
販 売 費	
一 般 管 理 費	

買 掛 金	
未 払 法 人 税 等	
未 払 販 売 費	
貸 倒 引 当 金	
減 価 償 却 累 計 額	
資 本 金	
利 益 準 備 金	
繰 越 利 益 剰 余 金	
	前 繰
未 払 配 当 金	
売 上	

「設例1-1」【解答用紙】問2～問4

問2

決算整理後残高試算表

現金	預金	()	買掛金	()
売掛金	金	()	未払法人税等	()
繰越商品	品	()	未払販売費	()
前払一般管理費	費	()	貸倒引当金	()
備品	品	()	減価償却累計額	()
仕入	入	()	資本金	()
販売費	費	()	利益準備金	()
一般管理費	費	()	繰越利益剰余金	()
貸倒引当金繰入	入	()	売上	()
減価償却費	費	()		
法人税等	等	()		
		()		()

問3

損益

3/31 仕入	()	3/31 売上	()
" 販売費	()		
" 一般管理費	()		
" 貸倒引当金繰入	()		
" 減価償却費	()		
" 法人税等	()		
" 繰越利益剰余金	()		
	()		()

繰越利益剰余金

6/25 利益準備金	()	4/1 前期繰越	()
" 未払配当金	()	3/31 損益	()
3/31 次期繰越	()		()

繰越試算表

株 主 会 計				貸 借 対 照 表			
現金	預金	金品費品	()	買掛金	法人税等	金品費品	()
売掛金	繰越一般管理費	()	()	未払法人税等	金品費品	()	()
繰越前払一般管理費	()	()	()	未払法人税等	金品費品	()	()
備品	()	()	()	貸倒引当金	金品費品	()	()
				減価償却累計額	金品費品	()	()
				資本金	金品費品	()	()
				利益準備金	金品費品	()	()
				繰越利益剰余金	金品費品	()	()
							()

問4

損益計算書

I 売上	()
II 売上原価	()
1. 期首商品棚卸高	()
2. 当期商品仕入高	()
合 計	()
3. 期末商品棚卸高	()
売上総利益	()
III 販売費及び一般管理費	()
1. 販売費	()
2. 一般管理費	()
3. 貸倒引当金繰入	()
4. 減価償却費	()
税引前当期純利益	()
法人税等	()
当期純利益	()

貸借対照表

現金	預金	()	買掛金	()
倒引	金	()	未払法人税等	()
貸当	金	(△)	未払販売費	()
商品	品	()	未払本準備金	()
前払一般管理費	品	()	利益剰余金	()
備品	品	(△)	繰越利益剰余金	()
減価償却累計額	額	(△)		
		()		()

(1) 仕訳

再振替	(一般管理費)	200	(前払一般管理費)	200
	(未払販売費)	100	(販売費)	100
期中取引 (1)	(未払法人税等)	600	(現金預金)	600
(2)	(繰越利益剰余金)	330	(利益準備金)	30
			(未払配当金)	300
(3)	(未払配当金)	300	(現金預金)	300
(4)	(仕入)	4,000	(買掛金)	4,000
(5)	(売掛金)	5,000	(売上)	5,000
(6)	(買掛金)	3,600	(現金預金)	3,600
(7)	(現金預金)	4,000	(売掛金)	4,000
(8)	(販売費)	370	(現金預金)	370
(9)	(一般管理費)	400	(現金預金)	400
決算整理 (1)	(仕入)		(繰越商品)	
	(繰越商品)		(仕入)	
(2)	(貸倒引当金繰入)		(貸倒引当金)	
(3)	(減価償却費)		(減価償却累計額)	
(4)	(前払一般管理費)		(一般管理費)	
	(販売費)		(未払販売費)	
(5)	(法人税等)		(未払法人税等)	

(2) 勘定記入

現金 預金	
前繰 4,800	(1) 600
	(3) 300
	(6) 3,600
(7) 4,000	(8) 370
	(9) 400
売 掛 金	
前繰 3,000	(7) 4,000
(5) 5,000	
繰 越 商 品	
前繰 1,000	
前払一般管理費	
前繰 200	再振替 200
備 品	
前繰 1,000	
仕 入	
(4) 4,000	
販 売 費	
(8) 370	再振替 100
一 般 管 理 費	
再振替 200	
(9) 400	
貸倒引当金繰入	
減 価 償 却 費	
法 人 税 等	

買 掛 金	
(6) 3,600	前繰 2,500
	(4) 4,000
未 払 法 人 税 等	
(1) 600	前繰 600
未 払 販 売 費	
再振替 100	前繰 100
貸 倒 引 当 金	
	前繰 60
減価償却累計額	
	前繰 300
資 本 金	
	前繰 5,000
利 益 準 備 金	
	前繰 700
	(2) 30
繰越利益剰余金	
(2) 30	前繰 740
(2) 300	
未 払 配 当 金	
(3) 300	(2) 300
売 上	
	(5) 5,000

【問2～4の解説】

再振替	(一般管理費)	200	(前払一般管理費)	200
	(未払販売費)	100	(販売費)	100
期中取引 (1)	(未払法人税等)	600	(現金預金)	600
(2)	(繰越利益剰余金)	330	(利益準備金)	30
			(未払配当金)	300
(3)	(未払配当金)	300	(現金預金)	300
(4)	(仕入)	4,000	(買掛金)	4,000
(5)	(売掛金)	5,000	(売上)	5,000
(6)	(買掛金)	3,600	(現金預金)	3,600
(7)	(現金預金)	4,000	(売掛金)	4,000
(8)	(販売費)	370	(現金預金)	370
(9)	(一般管理費)	400	(現金預金)	400
決算整理 (1)	(仕入)	1,000	(繰越商品)	1,000
	(繰越商品)	2,000	(仕入)	2,000
(2)	(貸倒引当金繰入)	20	(貸倒引当金)	20
(3)	(減価償却費)	100	(減価償却累計額)	100
(4)	(前払一般管理費)	120	(一般管理費)	120
	(販売費)	130	(未払販売費)	130
(5)	(法人税等)	400	(未払法人税等)	400

勘定記入

現金預金	
前繰 4,800	(1) 600
	(3) 300
	(6) 3,600
(7) 4,000	(8) 370
	(9) 400
	3,530

売掛金	
前繰 3,000	(7) 4,000
(5) 5,000	4,000

繰越商品	
前繰 1,000	決算 1,000
決算 2,000	2,000

前払一般管理費	
前繰 200	再振替 200
決算 120	120

備品	
前繰 1,000	1,000

仕入	
(4) 4,000	決算 2,000
決算 1,000	3,000

買掛金	
(6) 3,600	前繰 2,500
2,900	(4) 4,000

未払法人税等	
(1) 600	前繰 600
400	決算 400

未払販売費	
再振替 100	前繰 100
130	決算 130

貸倒引当金	
80	前繰 60
	決算 20

減価償却累計額	
400	前繰 300
	決算 100

資本金	
5,000	前繰 5,000

利益準備金	
730	前繰 700
	(2) 30

販 売 費			
(8)	370	再振替	100
決 算	130		400

一 般 管 理 費			
再振替	200	決 算	120
(9)	400		480

貸倒引当金繰入			
決 算	20		20

減 価 償 却 費			
決 算	100		100

法 人 税 等			
決 算	400		400

繰越利益剰余金			
(2)	30	前 繰	740
(2)	300	決 算	600
	1,010		

未 払 配 当 金			
(3)	300	(2)	300

売 上			
	5,000	(5)	5,000

【解答上のポイント】

問 1

決算整理前残高試算表 × 3 年 3 月 31 日

期首商品 →	繰 越 商 品	1,000	
当期仕入 →	仕 入	4,000	

問 2

決算整理後残高試算表 × 3 年 3 月 31 日

期末商品 →	繰 越 商 品	2,000	
売上原価 →	仕 入	3,000	
		繰越利益剰余金	410 ← 利益振替前

問 3

繰越試算表 × 3 年 3 月 31 日

		繰越利益剰余金	1,110 ← 利益振替後
--	--	---------	---------------

【参 考】損益計算書の様式…細かな科目はこれから少しずつ覚えていきましょう！

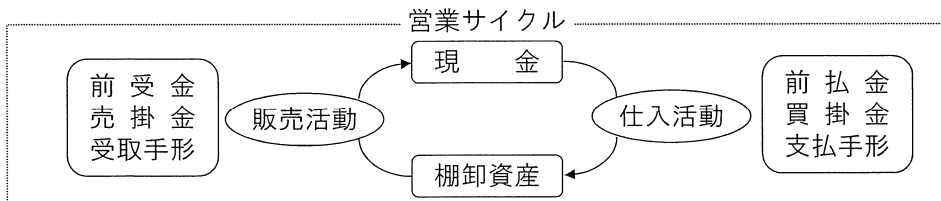
損 益 計 算 書			
I	売	上	高
II	売	上	原 価
		売 上 総 利 益	
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
	営 業 利 益		
IV	営 業 外 収 益	財務活動に関する損益 (利息・有価証券関係)	
V	営 業 外 費 用		
	経 常 利 益		
VI	特 別 利 益	臨時的な損益 (固定資産の売却損益など)	
VII	特 別 損 失		
	税引前当期純利益		
	法 人 税 等		
	当 期 純 利 益		

【参 考】貸借対照表の様式

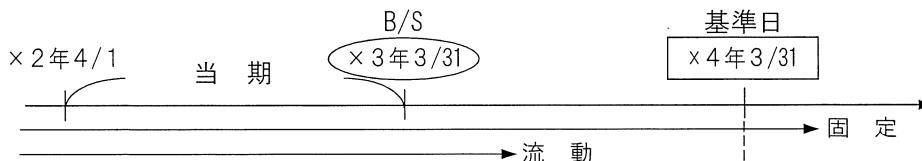
貸 借 対 照 表			
資 産 の 部		負 債 の 部	
I	流 動 資 産	I	流 動 負 債
II	固 定 資 産	II	固 定 負 債
1.	有 形 固 定 資 産		純 資 産 の 部
2.	無 形 固 定 資 産		(省 略)
3.	投 資 そ の 他 の 資 産		詳しくは1級で

※ 資産・負債の流動・固定の分類

1. 正常営業循環基準 → 企業の営業サイクルの中に含まれる資産・負債はすべて流動に表示！



2. 一年基準 → 貸借対照表日（決算日）の翌日から1年以内 or 超で流動・固定を決めます！
（具体例）貸付金・借入金など



3. その他の基準 → 1・2のほかに、科目の性質や所有目的などで分類するものもあります！
（具体例）建物・備品・有価証券は保有目的により、流動・固定が決定

今回のトレーニング

1-1～1-4です

特に重要な問題は、1-1（問4・6・7）と1-2です！

第2回（P29～P75）の学習に向けて…

次回は、商品売買の会計処理を学習します。

2級で学習した三分法、売上原価対立法の会計処理を、復習しておいてください！

この教材の著作権はTAC株式会社または権利者に帰属しています。

当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

TAC  **セミナー**

《《 1級/2024年11月合格目標 》》

合格テキスト【1級商業簿記・会計学Ver.18.0】を使用

※ 下記のカリキュラムは、今後変更となる場合もございます。

1級商業簿記・会計学 合格テキストⅠ	第1回	(通算) 第1回	テーマ01 商業簿記・会計学総論
			1 商業簿記総論
			2 英米式決算法
		(通算)	3 会計学総論
			4 制度会計
			5 企業会計原則
			6 一般原則
	第2回	第2回	7 損益計算書原則
			8 貸借対照表原則
			9 会計方針の開示、会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準
			テーマ02 商品売買の会計処理と原価率・利益率
			1 売上総利益(商品売買益)と売上原価の計算
		(通算)	2 商品売買の会計処理
			3 勘定分析
第3回	第3回	第3回	4 返品・割戻しと割引(仕入側の処理)
			5 他勘定振替高
			6 原価率・利益率
			テーマ03 棚卸資産
			1 棚卸資産とは
			2 棚卸資産の評価方法
			3 棚卸資産の評価基準
		(通算)	4 売価還元法
			5 棚卸資産の評価に関する会計基準
			テーマ04 収益の認識基準
第4回	第4回	第4回	1 収益認識の基本原則
			2 用語の定義
			3 収益を認識するための手順
			4 顧客との契約から生じた債権および契約資産、契約負債
		(通算)	5 収益の額の算定
			6 本人と代理人の区分
			7 商品券
			8 カスタマー・ロイヤルティ・プログラム(ポイント制度)
			9 収益認識に関する会計基準
第5回	第5回	第5回	テーマ05 工事契約
			1 工事契約とは
			2 使用する勘定科目
			3 工事契約に係る収益の認識
			4 進捗度にもとづき収益を認識する方法
			5 原価回収基準
			6 工事損失引当金
			テーマ06 割賦販売
			1 特殊商品販売とは
			2 割賦販売とは
			3 割賦販売の会計処理
		(通算)	テーマ07 委託販売
			1 委託販売とは
			2 売上収益の計上基準
			3 会計処理方法
			4 手許商品区分法
			5 積送諸掛の会計処理
			テーマ08 試用販売
			1 試用販売とは
			2 売上収益の計上基準
			3 会計処理方法
			4 対照勘定法
			テーマ09 未着品販売
			1 未着品販売とは
			2 会計処理方法
			3 手許商品区分法

1級商業簿記・会計学 合格テキストⅡ	第1回	第8回	1 税金
			2 法人税等の計算
	(通算)	第9回	3 税効果会計とは
			4 税効果会計における会計処理
			5 損益計算書および貸借対照表の表示
			6 差異の種類
			7 将来減算一時差異
			8 将来加算一時差異
			9 税率の変更
			10 繰延税金資産の回収可能性
			11 税効果会計に係る会計基準
	第2回	第9回	テーマQ2 現金預金
			1 現金預金の表示
			2 現金
			3 当座預金
	第3回	第10回	4 定期預金
			テーマQ3 金銭債権・貸倒引当金
			1 現在価値と将来価値
			2 金銭債権
	(通算)	第11回	3 貸倒引当金の設定
			4 貸倒れに関する会計処理
			5 割引手形・裏書手形と不渡手形
			6 金融商品に関する会計基準
	第4回	第11回	テーマQ4 有価証券
			1 有価証券の範囲
			2 有価証券の分類
			3 購入と売却
	第5回	第12回	基礎答練 第1回 実施
			4 売買目的有価証券の評価
			5 満期保有目的の債券の評価
			6 子会社株式・関連会社株式の評価
	(通算)	第13回	7 その他有価証券の評価
			8 有価証券の減損処理
			9 評価のまとめ
			(「設例4-11」まで)
	第6回	第13回	(「保有目的の変更」より)
			10 金融商品に関する会計基準
	第7回	第14回	テーマQ5 外貨換算会計
			1 為替換算
			2 外貨建取引の会計処理
			3 外貨建有価証券
	(通算)	第15回	4 外貨建取引等会計処理基準
			テーマQ6 デリバティブ取引
			1 デリバティブ取引
			2 先物取引
	第8回	第15回	3 ヘッジ会計
			4 為替予約
			(「設例6-4」まで)
			(「設例6-5」より)
	(通算)	第15回	5 オプション取引
			6 金利スワップ取引
			7 金融商品に関する会計基準

1級商業簿記・会計学 合格テキストⅡ	第9回	第16回	1 有形固定資産とは 2 減価償却 3 耐用年数の変更 4 有形固定資産の売却・除却・買換え 5 臨時損失と保険差益 6 圧縮記帳 7 固定資産の減損会計 8 資産除去債務 9 取得原価と費用配分 10 固定資産の減損に係る会計基準 11 資産除去債務に関する会計基準 12 賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準
	第10回	(通算) 第17回	テーマ08 リース取引 1 リース取引とは 2 リース取引の分類 3 リース取引の会計処理 4 ファイナンス・リースの会計処理(借手側) (「貸手側の会計処理」まで) (「中途解約」より) 5 オペレーティング・リースの会計処理 6 リース取引に関する会計基準
	第11回	(通算) 第18回	テーマ09 無形固定資産・投資その他の資産 1 無形固定資産 2 投資その他の資産
	第12回	第19回	テーマ10 繰延資産、研究開発費等 1 繰延資産 2 研究開発費等
	第13回	(通算) 第20回	テーマ11 引当金 1 引当金とは 2 引当金の計上要件 3 引当金の分類 4 負債の部の引当金(負債性引当金)の会計処理 テーマ12 退職給付会計 1 退職給付会計とは 2 退職給付債務 3 年金資産 4 会計処理 5 表示 6 退職給付に関する会計基準
	第14回	(通算) 第21回	テーマ13 社債 1 社債とは 2 普通社債の発行形態 3 普通社債の会計処理(満期償還) 4 社債発行費 5 買入償還 6 抽選償還(分割償還)
	第15回	(通算) 第22回	基礎答練 第2回 実施 テーマ14 純資産(資本) 1 純資産とは 2 純資産の部の表示 3 新株の発行(増資) 4 利益剰余金の配当とその他の処分(利益処分) 5 株主資本の計数の変動 6 自己株式 7 株主資本等変動計算書
	第16回	(通算) 第23回	8 新株予約権 9 新株予約権付社債 10 貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準 11 株主資本等変動計算書に関する会計基準 12 1株当たり当期純利益に関する会計基準

1級商業簿記・会計学 合格テキストⅢ

第1回	第24回	1 本支店会計とは 2 本支店会計における簿記一巡の手続き 3 本支店間取引 4 決算手続(帳簿上の手続き) 5 本支店合併財務諸表(合併F/S)の作成 6 内部利益
第2回	第25回	(通算) テーマ02 企業結合・合併 1 企業結合 2 合併 3 吸収合併の流れ 4 会計処理(存続会社の会計処理) 5 段階取得(抱き合わせ株式がある場合) 6 自己株式の処分 7 合併相殺仕訳 8 合併比率
第3回	第26回	(通算) テーマ03 連結会計(I) 1 連結財務諸表 2 連結財務諸表の作成方法 3 連結財務諸表の構成 4 支配獲得日の連結(連結貸借対照表の作成) 5 投資の資本の相殺消去 6 連結財務諸表に関する会計基準
第4回	第27回	(通算) テーマ04 連結会計(II) 1 支配獲得日後の連結 2 支配獲得日後1期目 3 支配獲得日後2期目
第5回	第28回	(通算) テーマ05 連結会計(III) 1 子会社株式の追加取得 2 支配獲得までの段階取得 3 支配獲得後の追加取得 4 子会社株式の一部売却
第6回	第29回	(通算) テーマ06 連結会計(IV) 1 内部取引高と債権・債務の相殺消去 2 期末棚卸資産に含まれる未実現利益 3 期末貸倒引当金の減額修正 4 期首棚卸資産に含まれる未実現利益 5 期首貸倒引当金の修正 6 非償却有形固定資産(土地など)に含まれる未実現利益 7 償却有形固定資産(備品など)に含まれる未実現利益 (「翌年度の連結修正仕訳」まで) (「評価差額の実現(資産売却損益等の修正)」より)
第7回	第30回	(通算) テーマ07 連結会計(V) 1 包括利益 2 連結包括利益計算書 3 その他の包括利益累計額がある場合 4 退職給付会計と連結会計 (「2.数理計算上の差異および過去勤務費用の処理方法(設例7-2)」まで) (「3.非支配株主持分への振替え(設例7-3)」より)
第8回	第31回	(通算) テーマ08 連結会計(VI) 1 持分法とは 2 会計処理(存続会社の会計処理) 3 持分法に関する会計基準
第9回	第32回	(通算) テーマ09 株式交換・会社の分割など 1 株式交換 2 株式移転 3 会社の分割(事業分離) 4 企業結合に関する会計基準 5 事業分離等に関する会計基準
第10回	第33回	(通算) テーマ10 外貨建財務諸表項目 1 在外支店の財務諸表項目 2 在外子会社等の財務諸表項目 3 外貨建取引等会計処理基準
第11回	第34回	(通算) テーマ11 キャッシュ・フロー計算書 1 個別キャッシュ・フロー計算書(個別C/F) (「4.直接法によるキャッシュ・フロー計算書(設例11-1)」まで) (「5.間接法によるキャッシュ・フロー計算書(設例11-2)」より)
第12回	第35回	(通算) 2 連結キャッシュ・フロー計算書(連結C/F) 3 連結キャッシュ・フロー計算書等の作成基準
第13回	第36回	基礎答練 第4回 実施

基礎答練 第4回 実施